

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	道徳教育の抜本的改善・充実			担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	教育課程課		教育課程課長 常盤木 祐一
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	学習指導要領改正通知(平成20年3月28日、平成27年3月27日、平成29年3月31日) 第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日 閣議決定)		
政策	2 確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成と信頼される学校づくり			主要経費	教育振興助成費		
施策	2-2 豊かな心の育成						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_2-2.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	道徳の「特別の教科」化を機に、答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合う「考え、議論する」道徳への転換を図るなど、道徳教育を抜本的に改善・充実するため、効果的な指導方法や評価方法の研究・成果普及、地域の特色を生かした道徳教育の実践・成果普及等の取組を推進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	平成27年3月に学習指導要領等を一部改正し、従前の「道徳の時間」を「特別の教科 道徳」(道徳科)として位置付け、平成30年度から小学校、令和元年度から中学校で全面実施。答えが一つではない道徳的な課題を自分自身の問題として捉え向き合う「考え、議論する道徳」へと質的な転換を図っている。「特別の教科」化が目指した量的確保、質的転換の面で一定の成果が上がっている一方で、道徳教育の更なる充実に向けた課題として、指導力の維持・向上や研修機会等の充実が喫緊の課題となっているところ、道徳科のよりよい実施に向けて、各種研修等の充実に加え、教科化以降の実践的知見の見える化・共有化を図る必要がある。さらに、コロナ禍において、優れた授業を参観する機会の不足、実践事例の共有が課題といった声や、「道徳教育アーカイブ」への需要の高まりを踏まえ、コンテンツの拡充が急務となっている。						
事業概要 (5行程度以内)	・教師の指導力の向上を図ることを目的として、「道徳教育パワーアップ研究協議会」を各都道府県等で開催するための支援を行うとともに、各地域の特色を生かした道徳教育を推進するため、外部講師や地域教材の活用、家庭・地域との連携などの自治体等の取組を支援する。 ・道徳教育の充実のための資料等をホームページ上で提供するアーカイブを運営し、授業映像や実践事例に関する資料、道徳に関する多様で質の高い指導方法や教材、評価方法に関する資料等を公開し、各学校における道徳教育の充実を支援する。 ・「特別の教科 道徳」の全面实施から、それぞれ4年目、3年目にあたる令和3年度に、この間の全国の小学校及び中学校における道徳科を要とした道徳教育の取組状況や課題を把握することで、今後の道徳教育のさらなる改善、充実を図るために必要な知見を得ることを目的として調査を実施する。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	316	311	257	266	269
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	▲ 75	▲ 24	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	241	287	257	266	269	
	執行額(G)		8	174	149		
	執行率(%) =(G)/(F)		3%	61%	58%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		3%	56%	58%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		初等中等教育振興費		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ・執行実績を踏まえ、効率的かつ適正な執行の観点から経費の一部を削減(初等中等教育振興事業委託費) ・新たな教育課題に対応するために増額(初等中等教育振興事業委託費)		
	(目)	初等中等教育振興事業委託費	262	265			
	(目)	教職員研修費	3	3			
	(目)	委員等旅費	1	1			
	(目)	諸謝金	0	0			
	(目)	職員旅費	0	0			
		その他	0	0			
	計(A)		266	269			

活動内容① (アクティビティ)		受託する自治体等における、道徳教育について効果的かつ多様な指導方法の普及等による教師の指導力向上、家庭・地域との連携強化、地域の特色を生かした取組に対する支援を実施。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		教師の指導力向を図るための研修や、地域の特色ある道徳教育の取組等を推進し、教科化の趣旨を踏まえた「考え、議論する」道徳への転換を図る。	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業に取り組む団体数(再委託先の自治体を含む) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止。	活動実績	団体	－	199	177	－	－	
				当初見込み	団体	190	190	199	177	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	「考え、議論する道徳」への転換を図り、課題となっている指導力の維持・向上や研修機会等の充実に各自治体に取り組んでいくことで、まずは教師が教科化の趣旨を踏まえ指導の工夫に取り組んでいる割合が向上すると考えるため、その割合を短期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
		「考え、議論する道徳」への転換を図るための指導の工夫の実施	「特別の教科道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか」の回答のうち、教師が自信をもって「当てはまる」と回答した割合(小学校)	成果実績	%	－	41	38	－		
				目標値	%	－	40	41	50		
				達成度	%	－	102.5	92.7	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書【学校質問紙調査】 ※「特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか」において、広く肯定的に回答をした割合は、96.8%。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は調査中止のため「-」を記載。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「考え、議論する道徳」への転換を図るための指導の工夫に取り組んでいくことが浸透していく中、各自治体において、道徳教育の更なる充実に向けて教師の指導力を向上していくための各種研修の充実や、よりよい実践事例の共有などの取組が進められることで、教師の意識のみならず、児童生徒自身が、主体的に考え、議論することに取り組んでいる割合が向上すると考えるため、その割合を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		各学校における道徳教育の充実により、教科化の趣旨を踏まえた「考え、議論する」道徳への転換を図る。	道徳の授業において自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる割合(小学校)	成果実績	%	－	81	80	－		
				目標値	%	－	90	90	90		
				達成度	%	－	90	88.9	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書【児童質問紙調査】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は調査中止のため「-」を記載。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

活動内容③ (アクティビティ)		教師の道徳科の授業改善を支援するため、道徳教育アーカイブを通じて、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料や指導案の工夫事例、授業で活用できる郷土教材等を提供する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		道徳教育アーカイブを充実することで、教師の道徳科の授業改善を支援し、「考え、議論する道徳」への転換を図る。	授業づくりの参考となる授業映像資料等を掲載する道徳教育アーカイブへのアクセス数	活動実績	アクセス数	214,996	161,063	582,557	－	－
				当初見込み	アクセス数	90,197	214,996	214,996	582,557	－
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	「考え、議論する道徳」への転換を図るため、道徳教育アーカイブにおいて、教師が道徳科の授業改善に活用できる授業映像資料等を充実していくことで、まずは教師が教科化の趣旨を踏まえ指導の工夫に取り組んでいる割合が向上すると考えるため、その割合を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		「考え、議論する道徳」への転換を図るための指導の工夫の実施【再掲】	「特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか」の回答のうち、教師が自信をもって「当てはまる」と回答した割合(小学校)【再掲】	成果実績	%	－	41	38	－	
				目標値	%	－	40	41	50	
				達成度	%	－	102.5	92.7	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書【学校質問紙調査】 ※「特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか」において、広く肯定的に回答をした割合は、97. 1%。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は調査中止のため「－」を記載。								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	「考え、議論する道徳」への転換を図るための指導の工夫に取り組んでいくことが浸透していく中、道徳教育の更なる充実に向けて教師の指導力を向上していくために、道徳教育アーカイブにおける授業映像資料等を充実させ、各自治体における実践的知見の見える化・共有化とも連携を図っていくことで、教師の意識のみならず、児童生徒自身が、主体的に考え、議論することに取り組んでいる割合が向上すると考えるため、その割合を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		各学校における道徳教育の充実により、教科化の趣旨を踏まえた「考え、議論する」道徳への転換を図る。【再掲】	道徳の授業において自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる割合(小学校)【再掲】	成果実績	%	－	81	80	－	
				目標値	%	－	90	90	90	
				達成度	%	－	90	88.9	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書【児童質問紙調査】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は調査中止のため「－」を記載。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		教師の道徳科の授業改善を支援するため、道徳教育アーカイブを通じて、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料や指導案の工夫事例、授業で活用できる郷土教材等を提供する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		道徳教育アーカイブを充実することで、教師の道徳科の授業改善を支援し、「考え、議論する道徳」への転換を図る。【再掲】	授業づくりの参考となる授業映像資料等を掲載する道徳教育アーカイブへのアクセス数【再掲】	活動実績	アクセス数	214,996	161,063	582,557	－	－
				当初見込み	アクセス数	90,197	214,996	214,996	582,557	－
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	「考え、議論する道徳」への転換を図るため、道徳教育アーカイブにおいて、教師が道徳科の授業改善に活用できる授業映像資料等を充実していくことで、まずは教師が教科化の趣旨を踏まえ指導の工夫に取り組んでいる割合が向上すると考えるため、その割合を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度	
						6	年度			
				成果実績	%	－	49	46	－	
				目標値	%	－	38	49	50	
			達成度	%	－	128.9	93.9	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書【学校質問紙調査】 ※「特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか」において、広く肯定的に回答をした割合は、97.4％。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は調査中止のため「-」を記載。								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「考え、議論する道徳」への転換を図るための指導の工夫に取り組んでいくことが浸透していく中、各自治体において、道徳教育の更なる充実に向けて教師の指導力を向上していくための各種研修の充実や、よりよい実践事例の共有などの取組が進められることで、教師の意識のみならず、児童生徒自身が、主体的に考え、議論することに取り組んでいる割合が向上すると考えるため、その割合を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度	
						9	年度			
				成果実績	%	－	86	85	－	
				目標値	%	－	90	90	90	
			達成度	%	－	95.6	94.4	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度 全国学力・学習状況調査 報告書【生徒質問紙調査】 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は調査中止のため「-」を記載。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



